

2022年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年12月23日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2022年1月13日

配当支払開始予定日 2022年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期第2四半期の連結業績(2021年6月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第2四半期	26,184	5.8	205		134		218	
2021年5月期第2四半期	27,783	12.1	48	60.1	141	5.0	443	

(注) 包括利益 2022年5月期第2四半期 195百万円 (%) 2021年5月期第2四半期 273百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第2四半期	16.51	
2021年5月期第2四半期	33.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期第2四半期	17,175	4,093	23.8	308.95
2021年5月期	16,185	4,348	26.9	328.19

(参考) 自己資本 2022年5月期第2四半期 4,093百万円 2021年5月期 4,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期		4.50		4.50	9.00
2022年5月期		4.50			
2022年5月期(予想)				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	5.3	200	16.4	290	26.7	80		6.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年12月23日)公表いたしました「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年5月期2Q	13,450,800 株	2021年5月期	13,450,800 株
期末自己株式数	2022年5月期2Q	200,012 株	2021年5月期	200,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年5月期2Q	13,250,788 株	2021年5月期2Q	13,250,788 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により各地で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるなど厳しい状況下にありましたが、感染者数の減少に伴い緊急事態宣言等が解除され、経済社会活動は正常化に向いつつあります。先行きについては、各種政策の効果や海外経済の改善などから持ち直しの動きが期待されるものの、感染再拡大による下振れリスクが懸念されるなど、不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、政府及び地方自治体からの営業時間の短縮及び酒類提供禁止要請により休業する飲食店等が増加しました。10月以降、緊急事態宣言等の解除に伴い外食需要の回復が期待されるものの、外出自粛による来店客数の減少などにより、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループはお客様や従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、食を支える企業として安心・安全な商品提供に努めております。業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っておりまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大は、当社グループの主要販売先である外食産業の経営環境の悪化を招き、当社グループにおきましても外商事業を中心に、厳しい事業運営を強いられました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は261億84百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は2億5百万円（前年同期は営業利益48百万円）、経常損失は1億34百万円（前年同期は経常利益1億41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億43百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、既存得意先との深耕を図るとともに、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外食業態得意先における店舗休業や営業時間の短縮、外出自粛による来店客数の減少などから、当事業の売上が減少しました。

この結果、外商事業の売上高は153億85百万円（前年同期比7.6%減）、営業損失は3億20百万円（前年同期は営業損失2億92百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、各店舗において、メーカーフェア等の販売施策の展開や、SNSを活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。新規出店については、2021年6月に静岡清水店（静岡市清水区）を開業いたしました。

しかしながら、飲食店等における店舗休業や営業時間短縮、感染拡大に伴うイベント需要の減少などから、当事業の売上が減少しました。

この結果、アマカ事業の売上高は94億47百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は5億12百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として48店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組む収益改善に努めるとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は13億92百万円（前年同期比46.4%増）、営業利益は80百万円（前年同期比73百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が9億67百万円、商品が2億62百万円増加したこと等により、流動資産は全体で10億68百万円増加しました。また、固定資産は、建物及び構築物が1億20百万円減少したこと等により、全体で79百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して9億89百万円増加し、171億75百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して1年内返済予定の長期借入金が1億円減少したものの、支払手形及び買掛金が16億85百万円増加したこと等により、流動負債が全体で16億19百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が3億50百万円減少したこと等により、全体で3億74百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して12億44百万円増加し、130億81百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して2億54百万円減少し、40億93百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは7億55百万円の収入（前年同期は10億18百万円の収入）となりました。これは、売上債権の増加9億67百万円があったものの、仕入債務の増加16億85百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは81百万円の支出（前年同期は3億91百万円の支出）となりました。これは、投資有価証券の償還による収入1億円があったものの、有形固定資産の取得による支出1億円、敷金及び保証金の差入による支出87百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5億86百万円の支出（前年同期は7億73百万円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済による支出4億50百万円等によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、3億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月期の連結業績予想につきましては、2021年7月14日公表の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途公表の「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	288,042	374,549
受取手形及び売掛金	3,801,809	4,769,789
有価証券	180,798	80,232
商品	3,484,514	3,747,286
貯蔵品	50,856	60,110
その他	1,321,493	1,164,676
貸倒引当金	△4,322	△4,521
流動資産合計	9,123,191	10,192,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,286,858	3,166,306
その他(純額)	1,195,847	1,152,635
有形固定資産合計	4,482,705	4,318,941
無形固定資産	31,754	28,797
投資その他の資産		
投資有価証券	895,465	867,450
その他	2,119,154	2,235,868
貸倒引当金	△467,041	△468,113
投資その他の資産合計	2,547,578	2,635,205
固定資産合計	7,062,038	6,982,944
資産合計	16,185,229	17,175,068

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,622,699	6,308,277
短期借入金	1,593,500	1,545,000
1年内返済予定の長期借入金	848,834	748,622
未払法人税等	26,680	58,631
賞与引当金	223,449	209,331
ポイント引当金	21,892	23,597
その他	925,249	988,244
流動負債合計	8,262,304	9,881,704
固定負債		
長期借入金	1,916,914	1,566,796
役員退職慰労引当金	285,751	287,088
退職給付に係る負債	420,780	427,491
資産除去債務	481,506	475,337
その他	469,250	442,822
固定負債合計	3,574,203	3,199,534
負債合計	11,836,508	13,081,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,269,290	1,990,902
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,291,930	4,013,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,653	81,813
繰延ヘッジ損益	△823	△4,237
退職給付に係る調整累計額	3,961	2,710
その他の包括利益累計額合計	56,791	80,286
純資産合計	4,348,721	4,093,829
負債純資産合計	16,185,229	17,175,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
売上高	27,783,137	26,184,312
売上原価	22,264,061	21,089,839
売上総利益	5,519,075	5,094,472
販売費及び一般管理費	5,470,732	5,299,963
営業利益又は営業損失(△)	48,342	△205,491
営業外収益		
受取利息	6,287	5,906
受取配当金	3,441	4,727
受取賃貸料	44,258	44,389
受取手数料	10,776	10,316
助成金収入	68,221	50,259
その他	10,723	6,768
営業外収益合計	143,708	122,369
営業外費用		
支払利息	11,050	10,316
賃貸費用	34,637	34,622
固定資産除売却損	3,530	758
その他	1,381	5,579
営業外費用合計	50,599	51,277
経常利益又は経常損失(△)	141,451	△134,399
特別損失		
減損損失	—	54,465
投資有価証券売却損	—	2,849
投資有価証券評価損	431,176	71,016
特別損失合計	431,176	128,331
税金等調整前四半期純損失(△)	△289,724	△262,730
法人税、住民税及び事業税	15,581	30,942
法人税等調整額	138,098	△74,913
法人税等合計	153,679	△43,971
四半期純損失(△)	△443,404	△218,759
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△443,404	△218,759

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△443,404	△218,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168,019	28,160
繰延ヘッジ損益	1,180	△3,413
退職給付に係る調整額	370	△1,251
その他の包括利益合計	169,570	23,495
四半期包括利益	△273,834	△195,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△273,834	△195,263
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△289,724	△262,730
減価償却費	228,224	225,519
減損損失	—	54,465
投資有価証券評価損益(△は益)	431,176	71,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	924	1,270
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,485	△14,118
ポイント引当金の増減額(△は減少)	616	1,704
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,060	1,336
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,230	4,924
受取利息及び受取配当金	△9,728	△10,634
助成金収入	△68,221	△50,259
支払利息	11,050	10,316
固定資産除売却損益(△は益)	3,530	758
投資有価証券売却損益(△は益)	—	2,849
売上債権の増減額(△は増加)	△1,452,966	△967,980
棚卸資産の増減額(△は増加)	459,526	△272,026
仕入債務の増減額(△は減少)	1,658,681	1,685,578
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,990	△6,273
その他	62,634	172,212
小計	1,055,537	647,929
利息及び配当金の受取額	7,388	7,581
利息の支払額	△7,264	△6,877
助成金の受取額	40,333	48,581
法人税等の支払額	△77,384	△1,178
法人税等の還付額	—	59,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,018,610	755,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△306,726	△100,752
無形固定資産の取得による支出	△2,553	△4,025
投資有価証券の取得による支出	△205,106	△5,485
投資有価証券の売却による収入	123,716	—
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
敷金及び保証金の差入による支出	△10,500	△87,500
その他	9,215	15,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,954	△81,817
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△160,500	△48,500
長期借入金の返済による支出	△523,082	△450,330
配当金の支払額	△59,715	△59,673
リース債務の返済による支出	△29,855	△28,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△773,152	△586,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△146,393	86,507
現金及び現金同等物の期首残高	419,140	288,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	272,746	374,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、顧客への商品の提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る額から商品の仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。また、センターフィーなどの顧客に支払われる対価について、従来は売上から減額しておりましたが、販売費及び一般管理費として処理する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は84,190千円減少し、売上原価は157,372千円減少しましたが、販売費及び一般管理費が73,181千円増加したことにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年6月1日 至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	16,652,363	10,233,558	889,220	27,775,142	7,995	—	27,783,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,575	7,429	61,582	70,588	—	△70,588	—
計	16,653,939	10,240,987	950,803	27,845,730	7,995	△70,588	27,783,137
セグメント利益又は損失(△)	△292,951	805,234	6,372	518,656	2,939	△473,252	48,342

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△473,252千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年6月1日 至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	15,384,842	9,439,093	1,352,218	26,176,154	8,158	—	26,184,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	877	8,522	40,091	49,491	—	△49,491	—
計	15,385,719	9,447,616	1,392,309	26,225,645	8,158	△49,491	26,184,312
セグメント利益又は損失(△)	△320,387	512,429	80,281	272,323	3,071	△480,885	△205,491

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△480,885千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

外商事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において6,556千円であります。

アミカ事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において47,909千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの売上高及び利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の外商事業の売上高が101,922千円減少し、アミカ事業の売上高が17,693千円増加しております。なお、セグメント利益に与える影響はありません。